

2019年度 FASiD PCM手法実践的モニタリングコース (PCM手法モニタリング評価コース応用編)

JICAの技術協力のモニタリングに直結した 実践的なモニタリング手法を学べます！

2014年以降、JICAの技術協力プロジェクトにおいて、中間レビューと終了時評価が原則廃止されました。新制度では、プロジェクト実施中はプロジェクトの実施者(日本人専門家、相手国実施機関のカウンターパート)が、6ヶ月ごとにモニタリングシートを、案件完了時にはProject Completion Report(事業完了報告書、以下、PCR)を作成することになりました。技術協力プロジェクトに従事する日本人専門家には、従来以上に、PDMと評価5項目を理解して、プロジェクトの質を向上させるモニタリング能力が求められています。

本研修では、JICAの新制度に対応したJICAの職員向けPCM研修で講師を務めた講師の指導の下、JICAの新制度に対応したモニタリングシートやPCRの作成法を実践的に学ぶことができます！

<2018年度受講者の声>

- ・ 今後のモニタリングシート、PCR作成にあたり大変有意義な研修だった。
- ・ 演習を通じて、かなり考え方と書き方のイメージができた。
- ・ 全体的な評価5項目とモニタリングの関係性、意味、何のためにやっていくかが理解できた。
- ・ 今まで誤解していた点も多く有益であった。

研修の達成目標

その1 PDMと評価5項目を具体的にプロジェクトマネジメントに活用する方法を理解する

プロジェクトデザインマトリックス(PDM)を用いて、効率的・効果的にプロジェクトの進捗や成果を管理するためには、プロジェクトが、論理的且つ具体的に組み立てられていることが大前提です。研修では、まずPDMの復習、PDM改訂の際の視点・ポイントの理解からスタートします。

また、モニタリングシートの作成においては、DACの評価5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性)の観点から、プロジェクトの現状を立体的な視点で検証することが実施者に求められているものの、実際にはこの視点を踏まえた質の高いモニタリングシートが少ないのが現状です。本研修では、評価5項目を復習しつつ、これらの視点のモニタリングシートへの盛り込み方を説明します。

その2 分かりやすく、論理的なモニタリングシート、PCRを作成できるようになる

「モニタリングシートの作成の方法が分からない」「どれくらいの分量を記載したらよいのか分からない」・・・新モニタリング以降、関係者(JICA職員、専門家)からよく聞かれる声です。実際、これまで作成されたモニタリングシートは、評価5項目の視点が盛り込まれていないものが多い、PCRにおいては、評価5項目の観点からのレビューが十分に分析されていない、提言が具体的でなく、相手国関係機関が今後何をすれば持続性確保につながるのか十分に練られていないといった声も聞かれます。本研修では、そのような課題に対応できるように、JICAのモニタリングシート及びPCR記載要領に沿って、小人数で講義と演習(グループ演習、個人演習、ディスカッション)を通じて、実践的に学ぶ機会を提供します。

研修詳細

- 主催： 一般財団法人 国際開発機構 (FASID)
- 日時： 2019年7月17日(水)、7月18日(木) 9:30～17:30
- 場所： 当財団セミナールーム(港区麻布台)※詳細は下記をご覧ください。
- 対象： JICAの技術協力プロジェクトに専門家として従事した経験、あるいは今後従事予定のある開発援助実務者で、PCM手法研修モニタリング評価コースを修了している方。FASID以外の主催による左記研修を受講された方も受け付けます。
- 定員： 16名

プログラム詳細

2019/7/17(水) モニタリングシートの作成		
1 日 目	9:30-10:05	オープニング(自己紹介、JICAにおける新モニタリング導入の背景と研修の目的)
	10:05-10:25	講義:PDMの復習
	10:35-11:15	演習① PDMの読解 ～PDMをより理解するためのウォーミングアップ～
	11:15-11:35	講義:モニタリング概論、JICAの新モニタリングにおけるモニタリング ～まずはJICAの技術協力のモニタリングシートの構成やPDM、評価5項目との関係を知る～
	11:35-14:45	演習② 評価5項目の観点に基づくモニタリング ～実践的にモニタリングシートを作成する～ (※途中、昼休憩1時間をはさむ)
	14:45-15:55	演習②評価5項目の観点に基づくモニタリング(グループ発表) ～案件監理者(JICA職員)の視点で、モニタリングシートをチェック～
	15:55-16:20	講義:リスクモニタリング ～モニタリングシートに含まれるリスクモニタリングについて～
	16:20-17:10	演習③:モニタリングシート読解～このモニタリングシート、どこがおかしい? どう直す?～
	17:10-17:30	1日目の振り返り
2019/7/18(木)PCRの作成		
2 日 目	9:30-10:10	講義:PCRの構成と内容 ～PDMとPCRの関係、PCRのポイント～
	10:10-11:10	演習④ 評価5項目ごとの検証項目の検討 ～評価5項目ごとに必要な視点と検証項目を整理する～
	11:10-14:10	演習⑤ 評価5項目ごとに情報を整理 (※途中、昼休憩1時間をはさむ) ～評価5項目ごとにプロジェクトの実績や成果、今後の見通しを整理～
	14:10-14:25	講義:提言、教訓の抽出
	14:35-16:15	演習⑥ 提言、教訓の抽出
	16:15-17:15	演習⑦ 発表と振り返り～精度の高いPCRに向けて相互チェック～
	17:15-17:30	閉講

■応募方法: オンライン応募フォームよりご応募下さい。

(下記URLへアクセスし、「応募フォームはこちら」ボタンをクリックしてください。)

→ https://www.fasid.or.jp/pcm/5_index_detail.php

■募集締切: 2019年7月1日(月)正午まで

■受講者の決定

募集締切後、参加の可否及び受講費の振込先情報などについてご案内いたします。なお、応募者が定員を超えた場合は、選考により受講者を決定します。

受講費(税、教材費込)	
一般	法人賛助会員・フレンズ
48,600円	38,880円

■留意事項

- ・受講費は、受講決定後にご案内する期日までに当財団の口座までお振込みください(振込み手数料は各自ご負担となりますのでご了承ください)。
- ・受講費をお支払いいただいた後の辞退につきましては、事務手数料5千円と、振込手数料(実費)を差し引いた額を返金いたします。なお、研修当日の辞退につきましては、受講費全額をお支払いいただきます。
- ・修了証書は、80%以上の出席をされた方に発行いたします。

■お問合せ先:

一般財団法人 国際開発機構(FASID)

人材開発事業部 山本

電話: 03-6809-1996

Email: pcm_moni@fasid.or.jp

住所: 〒106-0041

東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39MTビル6F

アクセス:

東京メトロ日比谷線 神谷町駅 1番出口より徒歩6分

都営大江戸線 赤羽橋駅 中之橋口より徒歩7分

都営三田線 御成門駅 A1出口より徒歩10分



FASIDのご紹介

(一財)国際開発機構(FASID)は、2012年10月1日に設立されました。その前身である財団法人国際開発高等教育機構は、外務省・文部省(当時)共管により1990年に設立され、以来20年以上一貫して、国際開発に関わる人材育成事業、及び開発援助の効果的効率的な実施のための調査研究事業を実施してきました。これまで行政官、援助実施機関、開発コンサルタント、NGO、大学関係者(教員及び大学院生)、民間企業社員などを対象に多種多様な人材育成事業を実施してきました。